

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 4 年 1 月 11 日 (2022.1.11)

【公開番号】特開 2020-130294 (P2020-130294A)
 【公開日】令和 2 年 8 月 31 日 (2020.8.31)
 【年通号数】公開・登録公報 2020-035
 【出願番号】特願 2019-24150 (P2019-24150)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 12 月 3 日 (2021.12.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

識別情報の変動表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

識別情報の変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、
 演出を実行可能な演出実行手段と、
 を備え、

変動表示の実行パターンとして、識別情報を一旦仮停止表示し、再度変動表示する再変動パターンを含み、

前記変動表示実行手段は、前記再変動パターンを実行するときに、第 1 特殊識別情報を仮停止表示するときと、前記第 1 特殊識別情報よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第 2 特殊識別情報を仮停止表示するときと、があり、

前記演出実行手段は、

前記第 1 特殊識別情報が仮停止表示されることを示唆する第 1 示唆演出と、前記第 2 特殊識別情報が仮停止表示されることを示唆する第 2 示唆演出と、を実行可能であり、

所定のリーチ演出の開始前は、前記第 1 示唆演出および前記第 2 示唆演出を実行可能であり、

前記所定のリーチ演出の開始後は、前記第 1 示唆演出を実行せず、前記第 2 示唆演出を実行可能であり、

識別情報がリーチ状態となった後に実行される演出として、第 1 リーチ演出と、前記第 1 リーチ演出の後に実行され且つ前記第 1 リーチ演出よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第 2 リーチ演出と、を少なくとも含み、

前記所定のリーチ演出は、前記第 2 リーチ演出である、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

(A) 上記目的を達成するため、本発明に係る遊技機は、
識別情報の変動表示を実行し、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であ
って、
識別情報の変動表示を実行可能な変動表示実行手段と、
演出を実行可能な演出実行手段と、
を備え、
変動表示の実行パターンとして、識別情報を一旦仮停止表示し、再度変動表示する再変
動パターンを含み、
前記変動表示実行手段は、前記再変動パターンを実行するときに、第1特殊識別情報を
仮停止表示するときと、前記第1特殊識別情報よりも前記有利状態に制御される期待度
が高い第2特殊識別情報を仮停止表示するときと、があり、
前記演出実行手段は、
前記第1特殊識別情報が仮停止表示されることを示唆する第1示唆演出と、前記第2
特殊識別情報が仮停止表示されることを示唆する第2示唆演出と、を実行可能であり、
所定のリーチ演出の開始前は、前記第1示唆演出および前記第2示唆演出を実行可能
であり、
前記所定のリーチ演出の開始後は、前記第1示唆演出を実行せず、前記第2示唆演出
を実行可能であり、
識別情報がリーチ状態となった後に実行される演出として、第1リーチ演出と、前記第
1リーチ演出の後に実行され且つ前記第1リーチ演出よりも前記有利状態に制御される期
待度が高い第2リーチ演出と、を少なくとも含み、
前記所定のリーチ演出は、前記第2リーチ演出である、
ことを特徴とする。

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、
 識別情報（例えば、第1特別図柄や、第2特別図柄や、飾り図柄など）の変動表示を実
 行し、遊技者にとって有利な有利状態（例えば、大当り遊技状態）に制御可能な遊技機（
 例えばパチンコ遊技機1）であって、
 識別情報の変動表示を実行可能な変動表示実行手段（例えば、遊技制御用マイクロコン
 ピュータ100のCPU103のステップS110～113を実行する部分）と、
 演出を実行可能な演出実行手段（例えば、演出制御用CPU120）と、を備え、
 変動表示の実行パターンとして、識別情報を一旦仮停止表示し、再度変動表示する再変
 動パターン（例えば、擬似連演出を行う変動パターン）を含み、
 前記変動表示実行手段は、前記再変動パターンを実行するときに、第1特殊識別情報（
 例えば、図9-7の弱擬似連図柄028SH120）を仮停止表示するときと、前記第1
 特殊識別情報よりも前記有利状態に制御される期待度が高い第2特殊識別情報（例えば、
 図9-8の強擬似連図柄028SH220）を仮停止表示するときと、があり、
 前記演出実行手段は、前記第1特殊識別情報が仮停止表示されることを示唆する第1示
 唆演出（例えば、図9-7の（B）の弱煽り演出）と、前記第2特殊識別情報が仮停止表
 示されることを示唆する第2示唆演出（例えば、図9-8の（B）の強煽り演出）と、を
 実行可能であり、
 所定のリーチ演出（例えば、弱スーパーリーチ）の開始前は、前記第1示唆演出および
 前記第2示唆演出を実行可能であり、
 前記所定のリーチ演出の開始後は、前記第1示唆演出を実行せず、前記第2示唆演出（
 図9-9の（D）の強煽り演出）を実行可能である。